としょ館たより　令和２年度　第６号

令和３年１月下旬

思い出の１冊

今年度来られた
先生・職員さんが選ぶ！

前号に引き続き、今年度来られた先生・職員さんの選ぶ
思い出の１冊 or　生徒へのおすすめの１冊を紹介していきます！
各月３～４名の方の選んだ本を紹介していきます！先生や職員さんが、どんな本を選んだのか、お楽しみに！

No,1　事務室　吉永浩事務長

『私が弁護士になるまで』

菊間千乃／2012／文藝春秋

「私、頑張って難しい試験に受かっちゃいました！！！」という、ヤッタゼ感満載の体験記ではありません。本当に合格できるだろうかという不安や悩みを抱えながら、大学院の夜間部に通い、仕事も辞め、アパートの１室に何日もこもり、外の世界とのつながりを絶ちながら勉強した社会人の涙の記録です。

著者は皆さんが生まれる少し前、フジテレビの人気アナウンサーでした。安定した仕事と収入を捨ててまでして、司法試験という難関試験を突破した社会人の信じられないくらいの一途な努力。今まで、中途半端にしか勉強してこなかった僕としては読みながら自分が恥ずかしくなるのですが、行き詰ったときに勇気を与えてくれる本でもあります。何かに迷ったときに、是非ご一読ください。

No,2　事務室　城市早会子さん

『きみの友だち』

重松清／2008／新潮文庫

私が中学生の頃に読んだ作品だったと思います。友だちとは何か。題名にもつながっていますが、その問いに対する答えの一つが、この本を読むことで何となく見えてきたような気がします。主人公の女の子だけでなく、その周りの様々な人々にも焦点があてられるこの作品の書かれ方、当時の私からするととても新鮮で、こんな小説もあるんだな、と思いながら読んでいました。こうして夢中で読める本との出会いは大切にしたいです。

生徒のみなさんへ　おすすめの１冊

今年度来られた
先生・職員さんが選ぶ！

No,3　Ａ科　三島大和先生

『高さへの挑戦』

加藤廣志／1998／秋田魁新報社

私のお薦めは「高さへの挑戦」です。少々古い本ですが、印象深い本です。昭和から平成にかけて高校バスケットボール界の頂点にいた秋田県立能代工業高校が、どのように強くなったのかがよくわかる一冊です。どうしたら勝てるのか、そのノウハウが詰まっています。高校生の頃何回も読んでいました。自分を強くしたい、部活動を強くしたいそんな生徒にお薦めです。

No,4　数学科　山根　萌　先生

『阪急電車』

有川浩／2010／幻冬舎文庫

ここ数年本を読んでいませんでしたが、紹介するにあたり久しぶりに少し読んでみました。

この本は兵庫県の阪急電車今津線の宝塚駅から西宮北口駅までの ８ 駅を舞台にした人と人との出逢いの物語です。短編集で１話が２０ページもなく、時間がない人でも、本を読むのが苦手な人でも手軽に読むことができると思います。

ある駅で乗り込んだ人、乗っている人、降りる人など少しずつ乗客の日常が交差していて、今津線沿線の生活を垣間見ているようでとてもほっこりします。中でも私のお気に入りのお話は小林駅です。ツバメの巣に対して駅員さんや町の人が温かく見守っていて、都会の中の人情が見えます。また、登場する女性の強さと次への第１歩が、なんだかすっきりします。

胸きゅんしたい人、ほっこりしたい人、スカッとしたい人におすすめの１冊です。

今年度新しく入った本です！是非借りてみてください

- ・中村シュフ（2015）『主夫になってはじめてわかった主婦のこと』 猿江商曾
- ・麻海昌（2020）『霞保育園で待っています』 八月書館
- ・寺地はるな（2020）『水を縫う』 集英社
- ・浜口倫太郎（2020）『お父さんはユーチューバー』 双葉社